

平成24年行政事業レビューシート					(外務省)						
事業名	赤十字国際委員会ドナー・サポート・グループ会合開催	担当部局	国際協力局	作成責任者							
事業開始・終了(予定)年度	平成24年度開始・終了(予定)	担当課室	緊急・人道支援課	課長 青木 豊							
会計区分	一般会計	施策名	VI-1 経済協力								
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第4条第3項	関係する計画、通知等	-								
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	ドナー・サポート・グループ会合は、年間1,000万スイスフラン以上を拠出する主要ドナー国がハイレベルでの意見交換を通じて、実質的にICRCの政策決定に関与できる重要な機会であり、メンバー国が持ち回りでホストしている。我が国は、本会合を初めてホストすることにより、主要ドナーとしての姿勢を示す。										
事業概要 (5行程度以内。別添可)	約50名(ICRCの主要ドナー18カ国から各2名(人道支援部門の局長クラスを含む)、及びICRC本部から総裁(会議1日目夕食会のみ)、事務総長、局長4名、職員数名)が参加する2日間の会議及び会議前日夜のレセプションを開催する。										
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他										
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求					
	当初予算	-	-	-	6	-					
	補正予算	-	-	-	0						
	繰越し等	-	-	-	0						
	計	-	-	-	6						
	執行額	-	-	-							
執行率(%)	-	-	-								
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)				
	紛争犠牲者の保護の実現 (救われた人命数) (注)機関全体の目標及び実績		成果実績 百万人	32.1	28.5	37.1					
			達成度 %	100%	100%	100%					
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込				
	①DSG会合メンバー国数 ②DSG会合メンバーによる拠出総額 (注)機関全体の指標及び実績		活動実績 (当初見込み)	①国 ②億スイスフラン	①19 ②9.9	①19 ②9.4	①18 ②10.5	-			
単位当たりコスト	5,972千円		算出根拠	DSG会合開催費用							
平成24年 (単位:百万円) 内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由							
	事務機器借料	1	-								
	レセプション経費	5	-								
	音響機材等雑費	0.4	-								
	計	6	0								

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的状況・予算の	<input type="radio"/> 広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。 <input type="radio"/> 国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。 <input type="radio"/> 不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。		ドナー・サポート・グループ会合のメンバーとして本年度日本に於いて本会議をホストすることは、国の責務である。
資金の流れ、費目・	<input type="radio"/> 支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。 <input type="radio"/> 単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。 <input type="radio"/> 受益者との負担関係は妥当であるか。 <input type="radio"/> 資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。 <input type="radio"/> 費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		本年度本件会合を日本で開催するに際して、会議運営に係る業者の選定にあたり入札を実施している。
活動実績・成果実績	<input type="radio"/> 他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。 <input type="radio"/> 適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。 <input type="radio"/> 活動実績は見込みに見合ったものであるか。 <input type="radio"/> 類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名 <input type="radio"/> 整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		従来より、ドナー・サポート・グループ会合は、ICRCの政策決定に十分な影響を与えており、実効性の高い手段となっている。
点検結果	経費節減に努め、業者からの提供物・サービスについては、適正価格にて調達する。		
予算監視・効率化チームの所見			
			-
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
			-
補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー		平成23年行政事業レビュー	